



三州病院広報誌

和

なごみ

秋・冬号
2014

第19号

<http://www.sansyu-hp.jp/>



患者様の作品

CONTENTS もくじ

ピックアップ

外来看護師、退院支援委員会 P1、2

患者様のこえ P2

新人紹介 P3

三州レシピ P3

精神保健福祉法の改正について P4

薬のおはなし P5

院内行事 P6

PickUp

第19回
ピックアップ

外来看護師



今年度より外来看護師が2人体制となりました。外来診療の介助や器材の発注・管理、器具の消毒・滅菌などの業務に加え、訪問看護や今年度から開始となった『もの忘れ外来』など、臨機応変に動いています。また、内科専門の医師が非常勤で勤務することとなり、外来でも超音波エコーの検査など、幅広い医療が提供出来るようになりました。



私達は三州病院に入職し、ともに15年以上勤務しています。最近、お互いの視力（世間では老眼と言うのでしょうか？）や記憶力の衰えを感じつつ、共にフォローしながら頑張っております。個人としてはこれ以上衰えないよう、日記をつけることを5年前より続けています。最初は1年ごとの日記帳を購入していましたが、今年は5年日記帳を購入しました。2、3行の文章ではありますが、漢字を思い出したり、ストレス発散になったり、日々の反省材料にしたりと活用しています。いつまでも皆様に元気と笑顔をお届けしたいと思います。（竹内）

私は病棟・外来リハビリ室を経て4月より配属となりました。療養された患者様が退院され、外来に来られる姿に元気をいただいているところです。精神科医療もずいぶん変わりましたが、変わらない看護の心でお待ちしています。外来にお越しの際はお気軽に声を掛けてください。（宮岡）

退院支援委員会

精神科病院に入院している方の中には、さまざまな理由から入院が長期に渡っている方がいらっしゃいます。2011年、厚生労働省の統計によると、平均的な入院日数が全国で約292日、鹿児島県は約419日で全国2位の長さとなっています。(ちなみに欧米諸国では約18日で、世界的に見ると日本の入院日数が特に長いことがわかります。)



2004年、国は『入院医療から地域生活中心へ』という基本的方策を掲げました。2008年には、精神障害者の自立と社会復帰を進めるための取り組み（地域移行支援特別対策事業）が始まり、2010年からは病院ではなく地域の中で生活をする事、そしてその地域生活を支えるための取り組み（地域移行・地域定着支援事業）が進められています。

当院では、一人でも多くの方が地域社会の中でより良い生活が出来ることを目的に、多職種のチームで情報を共有し、他機関や地域との連携を積極的に行い、患者様やご家族の意向を伺いながら、早期の退院促進に努めています。これまでの退院先は、ご自宅、グループホーム、障害者支援施設、介護保険施設等様々です。

今後も、多くの方が退院され、地域で安定した生活を送ることができるよう取り組んでいきたいと思っています。



当院では院内に意見箱を設置し患者様・御家族が気軽に意見を伝えられる病院づくりに努めています。

意見箱に入れられた意見・相談・苦情等とそれに対する各部署の対応を紹介します。

意見内容	音楽に関するOTが好きで今後もそういうOTを希望します。(※OT…作業療法活動)
回答	ご意見ありがとうございます。男子病棟ではカラオケが中心となっていますが、今後、他にも音楽に関する活動を希望される方が多くなれば検討していきます。 (作業療法室)
意見内容	いつもお世話になっています。統合失調症になって20数年たちますが、幻聴が消えません。どうしたらいいですか？
回答	診察時、現在の自分の幻聴の状況を説明し、内服薬の変更の必要があるかどうか等について相談して下さいね。 (診療部)





医事課 奥

今年の4月から事務所で働かせて頂いています。

社会人1年目からレシピをご紹介します

新人紹介

社会人1年目でわからない事ばかりですが、周りの皆様に助けられ受付の仕事にも慣れてきました。

これからも、多くの知識を身につけ、病院に来られる患者様やご家族に少しでも安心して来院して頂けるよう、笑顔で丁寧な対応を心掛けていきたいと思っています。

失敗を恐れず何事も頑張りますので、よろしくお願いします。

三州レシピ



料理自慢の看護師より、簡単でおいしいレシピをご紹介します。皆さんもぜひ作ってみてください♪

〈ふくれ菓子〉

材 料

- 小麦粉 300グラム
- 砂糖 300グラム
- 牛乳 200cc
- ベーキングパウダー 大さじ1
- はちみつ 大さじ1
- 卵 3個

作り方

- ボールに材料を全部入れて混ぜる
- 蒸し器にクッキングシートを敷き強火で40分蒸したら完成！

☆出来立ては温かくてふわふわですよ～！



〈ごまドレッシング〉

材 料

- ゴマ 大さじ5
- 砂糖 大さじ2
- 酢 大さじ1
- サラダ油 大さじ3
- マヨネーズ 大さじ3
- 生クリームまたは牛乳 大さじ3
- 醤油 大さじ2

作り方

- 材料を全て入れよく混ぜるだけ！

☆夏はとろてん、冷やっこ、サラダに！
冬はお鍋、水炊き、湯豆腐に！
1年中使える便利なドレッシングです！



精神保健福祉法の改正について

平成26年4月1日に精神保健福祉法が改正され、医療保護入院を中心に制度が変わりました。

ポイント1 保護者制度が廃止されました

これまで保護者に課されていた、治療を受けさせる等の義務規則が削除されました。

ポイント2 医療保護入院の際の同意者が変わりました

ご家族等のうちいずれかの方が同意すれば、医療保護入院が可能です。

※ご家族等とは、配偶者、親権者、直系血族、兄弟姉妹、裁判所に選任された扶養義務者、後見人又は保佐人です。該当者がいない場合は市町村長が同意の判断を行います。

ポイント3 医療保護入院の方へ退院支援が制度化されました

- 退院後生活環境相談員が選任されます。入院中や退院後の生活環境について相談に応じます。
- 退院後の生活を一緒に考え、サポートして頂ける地域援助事業者をご紹介します。
- 入院時に予定した入院期間を過ぎる場合、入院の必要性や退院に向けての取組みについて、医療保護入院者退院支援委員会で議論します。

医療保護入院とは…

精神科病院の入院には入院形態があります。下記3つの入院形態についてご説明します。

	任意入院	医療保護入院	措置入院
対象	入院を必要とし、入院に同意している者	入院を必要としているが、任意入院を行う状態にない者	入院が必要で自傷他害の恐れがある者
要件		精神保健指定医の診察及び家族等の同意が必要	精神保健指定医2名の診断の結果が一致した場合に、都道府県知事の措置

ご質問、ご不明な点等ございましたら、医療福祉（地域連携）相談室までお尋ねください。



薬のおはなし



今年、ニュースで「エボラ熱」「未承認薬を使用した」という話題が上がりました。未だ、「エボラ熱」を治療する薬はありません。「未承認薬」は効果があるのか、どんな副作用があるのか、まだ検証されていません。

この話題の中では、今、そこにある命を救うために未承認薬が使用されました。命と副作用、どちらに重きを置くかの天秤が動いたのでしょうか。

主作用とはその薬の目的の作用(効果)、副作用とは主作用以外の作用(目的外の効果)を言います。

“バファリン”というお薬をご存知ですか?「ああ、痛み止めね」「子どもの解熱剤でしょう」とおっしゃる方、多いと思います。“バファリン”の主作用は解熱鎮痛、副作用は血が止まりにくくなることです。しかし、現在は“バファリン配合錠A 81”という名前で、血が止まりにくい(固まりにくい)という作用を生かし、血栓の治療薬としても使用されています。副作用が主作用になった例です。

このように、薬を使用する中で副作用が主作用に変わるケースもありますし、薬の開発途中で思ったような成果が見られないと、主作用と副作用が逆転するケースもあります。

副作用、と聞いただけで、顔を曇らせないで下さいね。もちろん、生命に関わるような重大な副作用もあります。薬を飲んだら「熱が出た」「湿疹が出た」「胃が

ムカムカする」「便秘・下痢をする」…、こんな時は主治医に相談しましょう。

他にも薬のことで不安があったら、一人で思い悩む前に主治医や薬剤師に気軽に相談して下さいね。

(薬剤部)



院内行事 楽しい行事がいっぱい!

平成26年度実修行事

Pick Up

6月

10月

犬迫小学校1年生 交流学習

地域交流学習のため犬迫小学校の1年生が認知症病棟へ来てくださいました。可愛らしいダンスや歌を披露してくださり、患者様も手拍子をしたり笑顔で見られたりと喜ばれている様子でした。最後は握手をして「今日はありがとうございました」「いつまでも元気でいてね」の可愛い声に「ありがとうね、また遊びにおいでね」と患者様。あたたかい空気が流れ、心が和む場面でした。



▲6月にはてるてる坊主を女子病棟の皆さんで作りました～!

7月

犬迫校区 グラウンドゴルフ大会

患者様5名、職員5名で参加しました。普段から練習しているわけではないのですが、皆さん距離感を掴んだり、力の入れ具合がお上手で、係りの方や他チームの方から「上手いね～!」「いいぞいいぞ!」と声をかけていただきました。そして出ました!見事なホールインワン!地域の皆様と交流し楽しい大会となりました。地域の皆様ありがとうございました。



のど自慢大会



今年で4回目となり各病棟から選ばれた患者様、スタッフが出演し、演歌からJ-POPまでそれぞれの持ち歌を披露しました。普段のカラオケでは、床にしゃがんで歌うくせのある患者様。大会に出場し、初めは立って歌っていたのですが、日ごろの調子が出ません。途中からいつものスタイルになると本領発揮!お上手に歌えていました。また、職業柄、歌は玄人はだしの患者様。情緒たっぷり、迫力満点のセリフのところでは大きな拍手喝采を浴びていました。

9月

秋祭り

当院の隣にある関連施設くすの木グリーンハイツの秋祭りに参加しました。少し薄暗くなり、ステージの賑やかな演目や出店の美味しそうな匂いが祭りの楽しい雰囲気を醸し出していました。たこ焼きやかき氷などを味わいながら「お祭りなんて久しぶり～!」と喜ぶ患者様の笑顔を見るのが出来ました。



- 毎月、誕生会も開催しています。様々な行事にボランティア大歓迎!
- 他にも各病棟、デイケアでも様々なレクリエーションを企画しています。

理念 基本行動指針

患者様を博愛の精神で受け入れ、
分け隔てなく、寛容の心で接します。

1. 患者様の人権に配慮し、
最善の医療とより高き入院生活環境を
提供します。
2. 精神科リハビリを促進し
早期退院に努め、
多くの方が地域で生活できるように努力し、
その家族を含めて支援します。
3. 常に医療について研鑽を怠らず、
医療人としての誇りと働き甲斐を持てる
環境の創造に努めます。
4. 関係機関と連携し、医療を通じて
地域への貢献に努め、地域と共に歩む
病院作りを目指します。

患者様の権利について

患者様が安心して、
より良い医療を受けられるように、
患者様の権利を尊重します。

1. 個人としてその人格を尊重される権利
2. 医師から十分な説明を受け、治療を受ける権利
3. 通信・面会の権利
4. 公平で差別をされない医療を受ける権利
5. 処遇等の不服を申し立てる権利
6. 医療上及び個人の秘密を守られる権利

編集後記

子どもの頃から母の真似をして料理を手伝っていた私。ただ同じように作っても、母と同じ味にならないのは何故でしょう。「自己流だから」「レシピなんて無いのよ」そう笑って話す母。今では私も「自己流だから」が口癖です(^^)

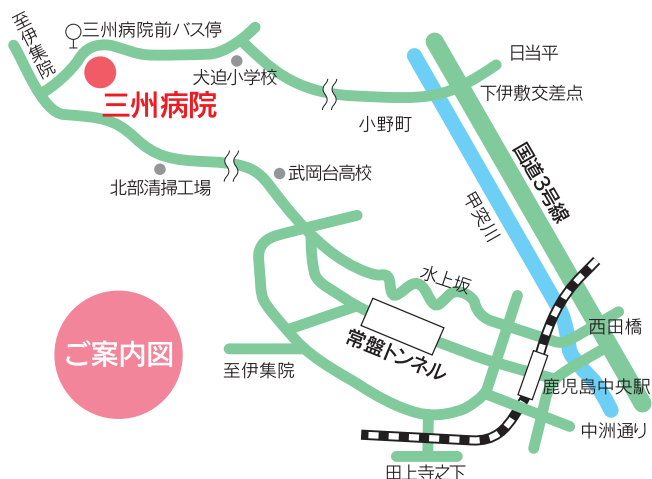
私も母のように美味しい煮しめが作れるようになりたいな～。
本格的な冬を乗り越えるためにも温かい料理やお風呂で体を温め、免疫力をアップさせましょう♪

ホームページアドレス <http://www.sansyu-hp.jp/>
☆ホームページでも広報誌がご覧いただけます。(広報担当 森田)

交通ご案内 鹿児島交通バス



山形屋バスセンターから犬迫経由伊集院線にご乗車いただき、
三州病院前バス停でご降車下さい。



ご案内図



日本医療機能評価機構
認定病院



特定医療法人 共助会
三州病院

〒891-1205
鹿児島市犬迫町7783番地1
TEL/**099(238)0075**
FAX/**099(238)0079**

診療科目 精神科・内科

<http://www.sansyu-hp.jp/>

診療時間 午前 9:00～12:00 (受付8:30～11:00) 午後 13:30～17:00 (受付13:30～16:00)

休診日 土曜日午後・日曜日・祝日

施設概要 病床数 213床
病棟 精神病棟 95床
精神療養病棟 60床
認知症治療病棟 58床

業務内容 ●精神療法 ●精神科作業療法
●精神科 デイケア・デイナイトケア・ショートケア
●精神科訪問看護 ●もの忘れ外来 他